

甲南大学アセスメントポリシー

令和8年4月9日

学長決定

1. 目的

本大学は、学生の学修成果を点検・評価し、これに基づく教育課程の改善・向上を図るための基本方針として、甲南大学アセスメントポリシー（以下「本ポリシー」という。）を定める。

2. 対象

本ポリシーは、全学部・学環及び全研究科を含めた大学全体を対象とする。

3. アセスメントプランの設定

第1項の目的に基づくアセスメントを実践するため、アセスメントプランを設定する。

4. アセスメントプランの構成

アセスメントプランは、3つの方針（卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、学生受入れの方針）ごとの自己点検・評価の観点及びこれに対応した自己点検・評価のレベルごとの評価指標を定める甲南大学アセスメントプラン・マトリックス（別表1）並びに各評価指標の運用に関する必要な事項を定める甲南大学アセスメントプラン運用総括表（別表2）により構成する。

5. 甲南大学アセスメントプラン・マトリックス

甲南大学アセスメントプラン・マトリックス（以下「マトリックス」という。）においては、多角的な視点で自己点検・評価を行うため、次の分野とレベルに分類して直接評価・間接評価・学生評価・外部評価の4つの側面から成る評価指標を設定する。なお、評価指標については、部局独自のものを定めることができる。

(1) 点検・評価の分野

- I. 学生受入れの方針（AP）、入学試験・学生募集
- II. 教育課程編成・実施の方針（CP）、教育・学修・学生生活
- III. 卒業認定・学位授与の方針（DP）、学修成果

(2) 点検・評価のレベル

- A. マクロレベル（大学全体レベル）
- B. ミドルレベル（学位プログラムレベル）
- C. ミクロレベル（授業科目レベル）

6. 甲南大学アセスメントプラン運用総括表

甲南大学アセスメントプラン運用総括表（以下「運用総括表」という。）においては、マトリックスにおいて設定された評価指標ごとに次の事項を定める。

- (1) 自己点検・評価の実施組織
- (2) 評価指標の対象学年等
- (3) 自己点検・評価の周期
- (4) 自己点検・評価の基準
- (5) 自己点検・評価活動及び改善活動における活用方法

7. 統括責任者・実施責任者

アセスメントプランに基づく学修成果の把握・測定、自己点検・評価及び改善活動の統括責任者は内部質保証推進委員会委員長とし、実施責任者は自己点検・評価の実施組織に関する組織別自己点検・評価委員会委員長とする。

8. 自己点検・評価と改善活動

学修成果の把握・測定結果に基づく自己点検・評価活動及び改善活動を内部質保証の仕組みとして KONAN-PDCA サイクルに組み込み、運用総括表に定める実施組織は当該活動を毎年度実践し、その計画及び結果を内部質保証推進委員会に報告する。内部質保証推進委員会委員長は、報告を受けた内容について、必要に応じて対応措置を講じる。

9. 本ポリシーの改廃

本ポリシーの改廃は、内部質保証推進委員会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

本ポリシーは、令和8年4月9日から施行する。